

## 中学校 技術・家庭科学習指導案

高田郡吉田町立吉田中学校 田村 博美

- 1 対象学年 第3学年
- 2 題材 幼児と触れ合おう



(「幼児と手作りおもちゃで遊ぼう」から)

### 3 題材設定の理由

核家族化，少子化が進行する現在，中学生は家庭などの身近なところで幼児と触れ合う機会が少なくなっている。そのために，幼児に対する関心をもちにくかったり，どのように接していいのかわからなかったりすることもある。

そこで，事前におもちゃの目的を考えさせ，心身の発達と関連付けて，対象児の年齢に適した製作計画を立て，創意工夫を加えて安全なおもちゃをつくった。今回の保育実習では，自分たちのつくったおもちゃで幼児と一緒に遊び，触れ合うなかで，幼児に対する関心を高めていきたい。また，育つ環境としての家族の役割について知り，さらには，自分の成長と家族や家庭生活とのかかわりについて考えさせたい。

実習に当たっては，事前に観察項目を提示し，それを意識しながら実習できるように支援していく。また，自分で分からないことを友だちに聞いたり，教え合ったりできる集団なので，まとめの時間での評価をしっかり行いたい。

### 4 題材の目標

- (1) 幼児の遊びに関する学習を通して，心身の発達に応じた生活について理解し，幼児に対する関心を高める。
- (2) 身近な材料で工夫しながら，幼児のおもちゃを構想し，計画を立て，製作させる。
- (3) 幼児の生活の中心は「遊び」であり，周囲の人々の理解ある態度や接し方が，「遊び」を充実・発展させることにもつながることを理解させる。

### 5 指導計画（全8時間）

生活習慣はどのようにして身に付くのだろう	1時間
幼児の遊びとおもちゃのかかわりについて考えよう	2時間
幼児の喜ぶおもちゃをつくろう	2時間
幼児と手作りおもちゃで遊ぼう	2時間（本時）
幼児との触れ合いを振り返ろう	1時間

6 学習指導の展開（本時）

学習項目	学習活動	指導上の留意点	評価
保育実習のねらい	保育実習のねらいを知る	保育実習を通して，幼児への理解を深めるよう助言する	学習目標をとらえることができる〔関心・意欲〕
本時の目標	本時の目標を確認する  (幼稚園へ移動)	予想した遊び方を各自に確認させる おもちゃの確認をさせる 忘れ物のないことを確認させる 交通安全，マナーについて十分注意させる	
保育実習	幼児にはじめのあいさつをする	安全面，言葉遣い，態度，目線など，幼児との接し方をおさえる	
	幼稚園の先生の話聞く		
	幼児の様子を観察する おもちゃと一緒に遊び，触れ合う	自分が予想した遊び方をしているか等の観察項目を思い出させるよう声をかける	すすんで幼児と遊ぼうとしている〔関心・意欲〕 年齢によって遊び方が異なることを理解して触れ合っている〔知識・理解〕〔技能〕
	幼児におわりのあいさつをする  (学校へ移動)	交通安全，マナーについて十分注意させる 忘れ物のないことを確認させる	幼児が遊びやすいように工夫している〔創意・工夫〕
観察表のまとめ	おもちゃについての観察項目をまとめ，感想を書く	保育実習で学んだことや疑問などについてもまとめられるよう助言する	幼児の関心を引き出すようなおもちゃに仕上がっている〔技能〕
感想の発表	感じたことを具体的に発表する	発表をしっかりと聞けるよう注目させる	観察項目について自己評価し，意欲的に表現できる〔関心・意欲・態度〕〔創意・工夫〕〔技能〕
本時のまとめ	本時の学習内容を確認する 次時の学習内容を知る		